

第 16 章

1.3.x 対応



見本

16.1 WebDAV とは？

WebDAV (Web-based Distributed Authoring and Versioning) とは、HTTP 1.1 を拡張し、Web サーバ上のファイルを外部から扱うことを可能にするプロトコルのことで、RFC2518^{#16.1} で定義されています。

WebDAV を用いることによって、ユーザーはリモートから Web サーバへファイルを転送したり、サーバ上のファイルを削除するなどの作業が可能になります。

また、同時に複数のユーザーが同じファイルを操作することを想定し、ファイルに対して書き込みロックをかけるということも可能です。

WebDAV に関する詳しい情報は、

<http://www.webdav.org/>

から得ることができます。

一看すると、WebDAV が提供する機能は、FTP が提供するものと非常によく似ています。しかし、以下の点で FTP に勝ります。

- HTTP のポート (TCP/80 番) を使用するため、FTP が利用できないような (HTTP しか利用できない) 環境でも利用可能である
- HTTPS を併用することによって、FTP よりもはるかに安全に、Web サーバ上のファイルを操作することが可能になる
- ファイルの書き込みロックなどが可能である

また、逆に、以下の点で FTP に劣ります。

- クライアントの種類が FTP に比べて少ない

#16.1 : HTTP Extensions for Distributed Authoring - WEBDAV
<http://www.ietf.org/rfc/rfc2518.txt>